



台湾新北市烏来区との友好交流提携 ～ 親善訪問の軌跡～

平成29年7月14日、台湾新北市烏来区と白糠町は、先住民族の交流を礎とした文化・芸術・教育・観光・経済など様々な分野で交流を図るため、自治体間の友好交流提携を締結しました。

今月号では、棚野町長を団長とする総勢55人の親善訪問の様子をお伝えします。

■ 7月13日

〈結団式〉

棚野町長を団長とする親善訪問団の結団式を新千歳空港の団体待合室で行いました。

棚野町長は、烏来区のタイヤル族との交流に尽力され、今回の訪問も楽しみにしていた中、今年2月に急逝された白糠アイヌ協会の高木津吉前会長をしのいで、「高木前会長の思いも含めて訪問し、将来に向け意義ある交流にしたい」とあいさつしました。

■ 7月14日

〈新北市民に駒踊りと蝦夷太鼓を披露〉【写真①～③】

新北市汐止区にある大型複合施設「遠雄廣場」で白糠駒踊りとくしる蝦夷太鼓を披露しました。

この企画は、今年5月に庶路小学校の6年生とテレビ授業を行った同市内の青山中小学校の紹介で実現しました。同校や汐止区の小中学校PTA協会関係者との会談で王如杏校長は「子どもたちのみ

ならず教師やPTAも共に交流を深め交流の輪を広げていきたい」とあいさつし、棚野町長は「子どもの将来を考える気持ちは同じであると思う。烏来区との交流とともに同校とも長く交流を続けていきたい」と応えました。

会場には多くの来場者が詰めかけ、若駒たちの力強く生き生きとした踊りや迫力ある太鼓の演奏が披露されると、会場からは大きな歓声とともに盛大な拍手が送られ、アンコールの声もかかるほどの盛況ぶりでした。

〈友好交流提携締結式〉

締結式の会場となった烏来区公所では、高富貫烏来区長をはじめ区議会議員、烏来区原住民編織協会の会員が、到着した訪問団に笑顔で二ーハオと呼びかけながら国旗を振るなど、盛大な歓迎を受けての会場入りとなりました。

締結式は、歓迎ムード一色の中進行し、提携書への署名の後、記念撮影（写真・同頁上）が行われ、烏来区主催の歓迎晩さん会では、烏来の味を楽しみながら友好の絆を深め合いました。

■ 7月15日

〈タイヤル文化祭〉【写真④～⑨】

烏来総合運動場で行われた烏来区に住むタイヤル族の一大イベント「タイヤル文化祭」に招待された訪問団は、烏来区の各地区から